

### 第3学年総合的な学習の時間学習指導案

日時 平成16年9月8日(水)5校時  
児童 男3名 女6名 計9名  
場所 2・3年教室  
指導者 上野 みつほ

#### 1 単元名 とどけよう、私たちの心パート2

#### 2 単元について

##### (1) 設定の理由

本校の総合的な学習の時間は、学習指導要領の趣旨を踏まえて、人や地域との関わりを通して、課題を見出し解決する能力や態度、豊かなものの見方・考え方、主体的・創造的な実践力を育て、自らの生き方を考えることができることをねらいとしている。

1学期の「とどけよう、私たちの心」の学習活動では、前沢養護学校の児童との交流から障害について学び、障害者の気持ちについて学習をしてきた。

この単元「とどけよう、私たちの心パート2」では、その学習を生かして、自分たちが住んでいる地域のハイムアザレアを訪問し、入居しているお年寄りとの交流を通して、自分たちがその人たちのために何ができるかを考え、自分なりに実践していこうとする態度を育てることをねらっている。高齢になり、体が思うように動かないことはあっても、周りの人に支えられながら一生懸命生活を送っている人たちと一緒に活動する中で、相手の立場になって考え行動しようとする大切さを学ばせるとともに、子ども達が少しでも自分自身を見つめなおし、誰に対しても優しい心で接することができることを願っている。

##### (2) 児童について

3年生になり、総合的な学習の時間に対する子ども達の期待は大きく、フリー学習では、「おいしい野菜を育てよう」の単元を設定し活動が始まった。自分たちで育てたい野菜を決めることからスタートした。生活科の経験を生かして今年は、自分たちで問題を解決しながら活動していくように指導した。教師の支援なしではなかなか進められない子もいるが、今のところ意欲的に活動できている。

3年生9名は、困っている人がいたら助けてあげたい、分からないことがあったら教えてあげたいというように、一人一人がより良い自分になりたいと願っている子ども達である。しかし、生活場面では、相手の気持ちを考えずに言葉を発したり、自分の感情だけで行動してしまう場面も見られる。

「とどけよう、私たちの心」の単元では、前沢養護学校の先生方の協力のもとに、小学部の児童との交流を持つことができた。子ども達は、「どんな子がいるのだろうか」「友達ができたらいいな」という期待感で一杯であった。実際の交流場面では、戸惑って、なかなかふれ合いが持てなかった子もいれば、名前を教えあうことができたり、一緒にサッカーを楽しんだ子と様々であった。校舎の中も案内してもらい、車椅子で移動している子や教室で横たわるようにして勉強している子にも出会った。この訪問をきっかけに、障害について自分なりの課題を持ち、学習を進めてきた。「目が見えない人はどんな気持ちなのだろう」「もしも自分が障害を持ったらどうなるのだろう」ということから、手話や点字のことを調べたり、車椅子の体験などを行い、3年生なりに、障害を持った人と出会った時には、自分ができることをしてあげられるようになりたいという願いを持つことができるようになった。

お年寄りとの交流に関しては、学校行事の七夕集会や地域での小正月行事等でも行われている。一緒に昔の遊びをしたり、餅つきや水木団子作りをする中で、お年寄りの手先の器用さや知恵のすばらしさを感じている。家庭でも、畑の仕事をする祖父母を手伝ったり、祖母と一緒に夕飯の支度をする子もいるが、介護が必要なお年寄りに接している子はいない。

(3) 指導にあたって

訪問先のハイムアザレアの入居者は、子ども達にとっては曾祖父母に当たる年齢で、車椅子に頼って生活している方が多く、食事や入浴等身の回りのお世話が必要な方もいる。そこで、本単元では、お年寄りについて知る活動からはじめる。人間は年をとると誰でも体の自由が利かなくなることを理解し、自分たちがお年寄りのためにできることは何かを考えさせていきたい。

訪問の計画を立てるに当たっては、できるだけ子ども達一人一人の思いを大切にしながら進めさせたいと考えるが、自分本位になりがちな子については、相手の立場に立って考えられるように指導していきたい。

実際にハイムアザレアを訪問する活動では、できるだけ「話しかける」ということを意識させ、計画通りにいかないことがあっても、お年寄りの方に喜んでもらえることを一番に考えられたらよいこととする。そして、今回の交流で自分なりに学んだことがあれば、それは自分の成長であることに気付かせたい。訪問の後、活動についての話し合いを持つ。その際に、お互いの活動の様子を交流できるような話し合いにし、友達の活動の良いところを認め合える場にしたい。

まとめの発表では、それまでの活動を振り返り、自分なりに工夫したまとめを発表できるようにさせ、自信を持たせたい。発表の場面は、他の学年の児童にも見てもらうなど、意欲を持たせるために指導を工夫したい。

研究仮説「他者との関わり方の観点を取り入れた評価の活用と支援」については、他者との関わり方の評価場面をハイムアザレアでの交流の時間に設定し行う。できるだけ、子どもたちの行動やつぶやきを細かに観察し、評価したい。また、教師側の評価だけでなく、子ども達自身の自己評価も合わせて評価したいと考える。

(4) 教科等との関連

- 国語・・・「考えを整理して話し合おう」「調べたことを発表しよう」
- 道徳・・・「心の花たば」
- 音楽・・・「古くからの日本の歌」

3 活動目標

ハイムアザレア訪問の活動を通して、相手の立場になって考え行動し、自分も相手も大切にしようとする気持ちを持つことができる。

社会にはいろいろな人がいて、それぞれがみな一生懸命生きていることを感じ、それを自分の生き方に生かすことができる。

4 活動計画(16時間)

段階	月	活動内容	評価規準(観点)＜評価方法＞
気付く・つかむ	9	<p>【ハイムアザレア訪問の計画を立てよう】</p> <p>ハイムアザレアの様子を知り、訪問の計画を立てることができる。</p> <p>お年寄りのことを理解し、ハイムアザレアでの様子を知る。</p> <p>計画を立てる。(本時)</p>	<p>訪問に期待を持ち、進んで計画を立てることができる。</p> <p>(興味・関心・意欲)</p> <p>＜発言・学習シート＞</p> <p>どのような内容が良いかを考えることができる。</p> <p>(学び方・考え方)</p> <p>＜行動の観察・学習シート＞</p>

行動する	9	<p>【ハイムアザレア訪問】</p> <p>ハイムアザレアの方たちとの交流を通して、自分たちなりに学んだことを生かして気持ちを伝えることができる。</p> <p>交流の準備をする。</p> <p>訪問し、交流する。</p> <p>活動後の話し合いをする。</p> <p>敬老の日のプレゼントを作る</p>	<p>友達と協力をして、準備を進めることができる。</p> <p>(興味・関心・意欲)</p> <p>&lt;行動の観察&gt;</p> <p>お年寄りと自分から進んで交流することができる。</p> <p>(他者との関わり方)</p> <p>&lt;行動の観察&gt;</p> <p>立てた計画を実行することができる。</p> <p>(学び方・考え方)</p> <p>&lt;行動の観察&gt;</p>
まとめる	10	<p>【これまでの活動のまとめをする】</p> <p>これまでの活動を振り返り、自分なりにまとめをすることができる。</p> <p>これまでの活動をまとめる。</p>	<p>まとめ方を工夫することができる。</p> <p>(興味・関心・態度)</p> <p>&lt;行動の観察・学習シート&gt;</p> <p>分かりやすくまとめることができる。</p> <p>(学び方・考え方)</p> <p>&lt;行動の観察・学習シート&gt;</p>
表現する	10	<p>【まとめの発表をしよう】</p> <p>まとめたものを、みんなに分かるように発表することができるとともに、友達の活動のよいところを見つけることができる。</p> <p>発表する。</p>	<p>意欲を持って発表することができる。</p> <p>(興味・関心・意欲)</p> <p>&lt;発表&gt;</p> <p>友達の発表を聞き、よさに気づくことができる。</p> <p>(自己の生き方)</p> <p>&lt;発表・学習シート&gt;</p>
振り返る	10	<p>【今までの活動を振り返ろう】</p> <p>これまでの2つの人権学習を振り返り、自分の成長に気づくことができる。</p> <p>振り返りをする。</p>	<p>単元の活動を通して、自分自身の成長に気づく。</p> <p>(自己の生き方)</p> <p>&lt;学習シート・発言&gt;</p>

は目標      は活動内容を表す。

5 本時の活動

(1) 目標

お年寄りの人たちの思い出に残るような訪問の内容についての話し合いをし、当日までの計画を立てることができる。

段階	活動内容	評価規準( ) 支援( ) 留意点(・)
導入 (3分)	1 活動内容を確認する。 ・ ハイムアザレア訪問の内容を話し合うことを確認する。 2 めあてを立てる。 思い出に残るような訪問の計画を立てよう	・ 前時に、今日の活動については知らせているので、確認だけにとどめる。
展開 (35分)	3 どのような内容がよいか自分の考えを学習シートに書く。 ・ 歌を歌う。 ・ リコーダー演奏をする。 ・ 絵を描いてプレゼントする。 ・ 一緒に折り紙をする。  4 全員の発表カードを黒板に掲示しながらグループ分けをする。 ・ 発表カードを内容ごとにまとめ、グループ分けができないか考える。 ・ これからの活動のグループ分けをする。  5 グループごとに、活動の目標を決め、計画を立てる。 ・ 準備するもの ・ 練習する内容 ・ 役割り分担	どのような内容が良いかを考えることができる。 (学び方・考え方) <学習シート> なかなか考えつかない子には、お年寄りにとって楽しいと思えることを考えるようにさせる。 ・ 内容が決まったら、カードに書かせる。  ・ これからの活動の見通しを持たせ、できるだけ一人にならないように配慮したい。  訪問に期待を持ち、進んで計画を立てることができる。 (興味・関心・意欲) <発言> 自分の思いだけに偏りがちな子に対しては、相手の考えを聞きながら進めるようにする。
終末 (7分)	6 本時の学習を振り返り、自己評価を書く。	・ 次の時間は、計画をもとに活動に入ることを伝える。